

第9期（令和6年度～8年度）

第3回 葉山町介護保険事業計画等運営委員会 議事録

日時：令和8年6月26日（金）13:30～14:40

場所：葉山町役場3階 協議会室1

委員会の次第

- 1 あいさつ
- 2 第9期 葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況
- 3 アンケートの回収状況について
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 その他

配布資料

資料1 第9期における各事業の実績報告等について令和7年度実績
資料2 第10期介護保険事業計画の作成に向けた各種調査について
資料3 第9期(令和6年度～令和8年度)介護保険事業計画等運営委員会スケジュール案
参考資料 高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画

出席者等（敬称略）

会 長…… 玉川 淳
副会長…… 岩崎 仁彦
委 員…… 木内 シヅ、相澤 寶子、加茂 公隆、松尾 博樹、宮川 康代、佐々木 摂子
8名出席
事務局…… 佐野福祉部長、内田福祉課長、中込課長補佐、和田主任

議事概要

内田福祉課長：第3回葉山町介護保険事業計画等運営委員会を開催させていただきます。本日進行を務めます福祉課長の内田と申します。どうぞよろしくお願い致します。

議事録の作成のため音声の録音をさせていただきます。それでは福祉部長佐野よりご挨拶を申し上げます。

佐野福祉部長：皆様、本日はお忙しい中、「第9期 第3回葉山町介護保険事業計画等運営委員会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。私は葉山町福祉部長の佐野でございます。本日は、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする第9期計画について、例年行っております計画の進捗状況についてご審議いただくとともに、

いよいよ令和 9 年度から令和 11 年度の 3 か年を計画期間とする第 10 期介護保険事業計画の策定に向けたスタートという節目でございますので、本来、この場で町長の山梨からご挨拶を申し上げねばならないところですが、あいにく公務が重複しておりまして、代わって私の方から、ご挨拶を申し上げさせていただきます。

まずもって、委員の皆さまには、日頃より、本町の保健・医療・福祉行政に多大なご理解とご支援を賜わっておりますことを心より感謝申し上げます。

さて、この度、私たちが策定に取り組む介護保険事業計画は、現在の超高齢社会において、住民の皆様が安心して、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、質の高い介護サービスを提供するための羅針盤となる重要な計画です。

本年 6 月 1 日現在、葉山町の高齢化率は 32.0%となり、3 人に 1 人以上が高齢者という状況にあります。とりわけ、このうち 75 歳以上の後期高齢者が占める割合が 65.3%となり令和 5 年度から 3.2 ポイントの増となっております。この数字は、高齢者支援の必要性が一層高まっていることを示しており、私たちが直面している課題の大きさを改めて認識するものです。

このような現状を踏まえ、この計画の策定にあたりましては、地域の介護を取り巻く現状と課題を的確に把握し、そして将来を見据えた持続可能な介護保険制度の運営体制を構築していくことが不可欠なものと考えております。そのためには、本日ご参集いただきました、学識経験を有する方、医療・介護関係者、地域住民、関係行政機関の委員の皆さまからの多様なご意見と専門的な知見を結集することが何よりも重要であると考えております。

本委員会は、今回の会議を皮切りに本日を含め今年度 5 回開催し、皆様からの貴重なご意見を賜りながら、より実効性のある、そして葉山町の地域特性と適合した計画となるよう進めてまいりたいと思います。

委員の皆様には、活発なご議論をいただき、葉山町の介護保険事業のさらなる発展のために、引き続きのご支援を賜りますことをお願い申し上げます、開会のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

内田福祉課長：（資料確認）

本委員会委員についてですが、8 番鎌倉保健福祉事務所の佐々木委員へは、前任の山岡委員の異動に伴い、第 3 回から委嘱をさせていただきました。また 9 番の葉山町社会福祉協議会の中野委員はご欠席でございます。本年度初回でございますので改めて皆様に自己紹介をお願いします。

（委員自己紹介）

（事務局職員自己紹介）

内田福祉課長：本日は、計画策定に関わるコンサルテーション業務を委託しています株式会社名豊の小池様に出席頂いております。

コンサル：株式会社名豊の小池と申します。よろしくお願い致します。

内田福祉課長：本委員会は規則第 5 条の規定により、委員の過半数の出席をもって成立致します。本日は 8 名の委員に出席をして頂いておりますので、成立していることをご報告致します。

続きまして、当委員会は原則公開することとなっております。そのためホームページで傍聴者を募集したところ希望者はいませんでした。それでは以降の進行につきましては、玉川委員長どうぞよろしくお願い致します。

玉川委員長：福祉部長からありましたように、今年度介護保険事業計画の策定の年ということで、この委員会も密に開催をしていくことになります。皆様よろしくお願い致します。

それでは第3回の葉山町介護保険事業計画等運営委員会、次第に沿って進めさせていただきます。議題の2、第9期葉山町高齢者福祉計画、介護保険事業計画の進捗状況について資料をご用意していただいておりますので、事務局から説明をお願いします。

事務局中込：資料1をご覧ください。第9期における各事業の実績、報告等について記載してある資料になります。令和7年度実績と8年度の進捗状況も含めて報告できればと思います。

1ページ高齢者数等の推移ですが、前回と同じ時点の表になりますが、65歳以上の方が、介護保険の第1号被保険者です。40歳から64歳の方が、第2号被保険者です。葉山町では、令和3年度をピークに全体の人口および高齢者人口は減少に転じております。年齢別人口から見ると、この現象は数年続く見込みで、団塊のジュニア世代が65歳に到達する、約10年後から再び高齢者人口が増加傾向になると予測しております。一方、生産年齢人口の減少傾向は、今後も続く見込みで、さらに、高齢化率の上昇はこれからも続く予測しております。中でも75歳以上の後期高齢者の人口は引き続き増加していく傾向にあり、介護の需要が高まっていると予測です。そして下の表が、計画値と実績値を比較です。3年前に予測した人口の推移よりも大きく減少しているのが分かります。今期も慎重に人口推計をしていく必要があり、国税調査や年齢別の人口の推移、そして社会保障人口問題研究所の推計などをもとに行っていきます。

2ページ、第1号被保険者の要支援、要介護認定者数の推移になります。認定率が年々上昇している現状です。そして、葉山町の特徴は、軽度者である要支援1から2、要介護1までの方が、全国と比べ多く、一方要介護2～5の方は、全国と比べ少ない現状です。下の表ですが、計画比にばらつきがありますが、一番下の要介護認定者の合計は、総じて100%よりも多くなっています。

3ページになります。前回と同じ時点のグラフです。調整済み認定率とは、他の市町村等との比較を目的として、どの地域も全国平均同じ第1号被保険者の性別、年齢構成だった場合として、計算されます。全国、神奈川県と近隣の市町村と比較しました。葉山町は、18.1%と、最も低い現状です。比較的介護を必要とする高齢者が少ないと考えられます。

4ページ、給付費の推移からみた介護保険サービスの利用状況になります。前期の令和5年度から、今期令和6年度から7年度までの計画値と、実績値を比較したものです。サービス種別によって計画比のバラツキはあるものの総じて高い状況というのが分かります。給付費の伸びが大きいところに星印をつけました。在宅サービスを中心に増えています。特定施設入所者生活介護いわゆる有料老人ホーム、老人保健施設の施設サービスも増えているのが分かります。

5ページ、調整済みの第1号被保険者1人当たりの給付月額を、他市町村との比較です。こちらも認定率と同様、全国、神奈川県、近隣市町村より、葉山町が一番低い状況であることがわかります。しかし、給付費は年々増加し、今後も続く見込みです。今後、限りある社会資源を有効活用して、介護サービスのみならず、地域の多様なサービスを適切に提供する体制を構築するとともに、医療、介護の連携を推進していくことが重要と考えています。（3）のその他サービスの推進ですが、介護給付に伴って生じるサービス費用になります。参考までにご覧ください。

6ページの施策の展開です。高齢者福祉事業についての進捗状況の報告です。

（1）貯筋運動の普及：各団体が、リーダーを中心に週一回程度集まって貯筋運動を実施しています。そこに年2回公認講師を派遣し、正しい体操の実技指導や筋厚測定を受け、貯筋通帳を付けてインセンティブの葉山カードをもらえることを励みに取り組んでいただいています。団体数が、計画値まで及ばないという現状です。課題としては、

団体の担い手不足、高齢化等あります。また、貯筋運動の効果検証のため、国立研究開発法人医薬基盤、健康栄養研究所と、包括連携協定を結びました。

（２）介護予防事業の推進：水中歩行教室は、逗子のスイミングクラブへ委託をし、実施している介護予防教室になります。参加者の欠席等により計画比は低いですが、参加者からは、非常に高い評価をいただいています。実施に際し人数だけではなく、参加者がどのように介護予防につながったか、アンケートなどを通じて、評価していきます。

続いて、健康寿命の延伸に向けた未病改善の取り組みですが、町民健康課の管理栄養士や保健師と一緒に高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組んでおります。口腔栄養講座等、地域に出向いて、各種の講座を実施しています。

（３）（４）については、地域包括支援センター運営協議会にて触れさせていただきます。

（５）外出支援事業の推進：京急のふれあいバスの補助は、年々延べ利用者数は、増加傾向にあります。

７ページ、無料送迎サービスも、少しずつ利用延べ数が上がっています。また、高齢者の介護予防を目的とした外出支援おでかけタクシー券配布を、令和６年度９月に開始しました。申請率や利用率も上昇してきていますが、当初の予測よりは伸び悩んでいます。３つの外出支援事業の対象者は、状態像としては異なるため、それぞれの事業の周知を図っていきます。

基本目標１の地域でお互い支え合いながら暮らしていく：

（１）地域福祉活動への支援：生活支援体制整備事業は、第２層の協議体を８圏域へ設置目標に社会福祉協議会とともに、推進していきます。課題としては町を軸とした第１層協議体の機能は、不十分である現状から機能強化を目指して行っていきたいと思えます。

（２）地域ケア会議の推進：地域包括支援センターを中心に、困難事例の検討を行っています

（３）生きがいミニデイサービス事業：介護保険を利用していない高齢者の方を対象にして、身近な町内会単位で、仲間づくり、健康維持、社会的孤立を防止することを目的に実施しています。延べ参加回数は年々増加しています。このような地域の団体への参加者は貯筋運動含め決まった方が多い状況で、参加していない方へのケアも課題となっています。参加しづらい、あるいは男性の参加率が低い現状から、介護予防や地域とのつながりの必要性等の周知や、色んな選択肢を自分で選択して活動していけるような、仕組みづくりも必要と考えています。

８ページ、介護予防・日常生活支援総合事業です。要支援１、２、総合事業対象者を対象にしたサービスです。従前相当訪問型サービスと通所型サービスは計画比が高く、上昇率も大きい現状です。特に通所型サービスの増加が顕著です。それに伴い地域包括支援センターが実施する介護予防ケアマネジメントも増加しています。介護予防に取り組むことは大事ですが、地域支援事業費の圧迫だけでなく、介護人材不足の課題も大きいので、介護専門職に頼らないサービス形態を作っていく必要があると考えております。それが下の表にある訪問型サービス ABCD あるいは通所型サービス A B C になります。A 型基準緩和サービスは、介護専門職の配置や施設の基準を緩和した状態でサービス提供が行える形態です。B 型は住民主体による生活支援サービスになります。実際には新たな実施団体が創設できていない現状です。

９ページ、基本目標３認知症になっても、安心して暮らせるまちをつくる。

（１）認知症について理解する。認知症の普及啓発ですが、例年９月に実施しているパネル展示の写真です。パネルは、地域の介護事業所に協力依頼し、作成展示しています。今回は、ご本人たちの声を載せることができました。認知症講演会は、令和６年に実施しましたが、７年は未実施のままでした。サポーター養成講座は、目標値に届いておりませんが、対象を広げて実施を工夫しているところです。１人でも多くの方に、認知症サポーターになっていただき、町民全体に新たな認知症観が広まっていくことを目標にしたいと思えます。

（２）認知症の早期発見・早期対応。認知症初期集中支援チームの活動ですが、医師の確保ができず、実際に活動ができていないのが現状です。認知症サポート医の先生がこの地域にもいらっしゃるの、協力依頼をして家族

相談会や、ケアマネジメントの事例検討会など、形を変えて実施したいと考えております。

10 ページ、(3) 認知症等行方不明 SOS ネットワークの登録者数にバラツキはありますが、制度が浸透してきたため、予防的に登録しておく方が増えて安心に繋がっている声を聞いています。また、成年後見制度の利用促進は制度自体の周知が不十分であり、終活への取り組みニーズが大きいことから、周知に力を入れていきたいと考えています。

基本目標 4、年齢を重ね、介護が必要な状態となっても、可能な限り暮らしていけるまちとする。(1) 高齢者の生活支援の充実を図っているところです。

11 ページ、ふれあいごみ収集は安否確認を兼ねたグリーンセンターとの協働事業ですが、登録者数は増えていきます。離れて暮らす家族やケアマネから申請が非常に増えています。

(3) 介護人材確保・育成のために、令和 7 年度から介護職員現任キャリアアップ支援事業を開始し、計 2 回約 20 名の参加がありました。今回は再入院の多い心不全の理解や心臓リハビリテーションについての内容で、葉山ハートセンターの看護師、理学療法士、管理栄養士さんを講師にお迎えしました。また、今年度からですね。介護人材確保を目的に、介護関係研修費用の一部補助を開始しました。

12 ページ、地域密着型サービスの施設整備についてです。令和 8 年 4 月に前期から検討していた看護小規模多機能型居宅介護が開設しました。そして、現在は認知症対応共同生活介護の 1 か所 2 ユニットが不足している状況です。引き続きグループホーム設置の公募を行っております。第 10 期にまたがり目標値を設定していきます。

12 ページ、特別養護老人ホームの入所の待機者は、年々減少しています。要因としては、経済面を理由に待機している方が、比較的安価な有料老人ホームなどを選択する場合があります。あるいは、在宅サービスの充実が図られ、在宅でももう少し頑張ってみようという方もいらっしゃると思います。

13 ページ、介護保険料についてです。保険料を納めている第 1 号被保険者の人数は減少傾向にありますが、介護給付が増えているため、保険料負担を上げざるを得ない状況です。9 期の設定は、多段階化した高所得者の方の負担割合を増やしました。また、下表ですが介護保険料、収納状況ですが、令和 5 年度から 7 年度にかけて、収納率及び額が増えているというのが分かります。

以上になります。

玉川委員長：資料 1 の項目ごと、丁寧な説明ありがとうございました。令和 9 年度からの第 10 期を今後考えていくためには、直近の計画 6～8 年度の事業評価が大切になります。6 年度 7 年度が確定値、8 年度は実績を入れられるところだけと言うことですね。確認です。2 ページの下の方で各年 10 月 1 日現在とありますが、8 年度は 6 月 1 日現在と書いてあるのでしょうか。

事務局：はい、注釈が入っておらず申し訳ありません。8 年度は 6 月 1 日現在の値です。

玉川委員長：皆様方から資料 1 について、説明含め確認しておきたいこと等ありますでしょうか。

宮川委員：5 ページの真ん中色付きのグラフで、調整済み給付月額について説明をお願いします。一人当たり月にこんなに給付されているのでしょうか。

玉川委員長：グラフ左のメモリは千円単位ですが、グラフに記入されているものは円単位のようにです。町全体の介護給付費、施設も在宅も居住も含めたものを、サービスを使っていない人も合わせた 65 歳以上の被保険者全員で割った金額が月額 1 万 7 千 4 百円になるかと思います。

加茂委員：歯科医院で仕事をしています。9 ページの認知症についてですが、認知症サポーター養成講座などの周知はどのようにやっているのでしょうか。神奈川県ホームページで認知症関連の周知を見たことがあります。

事務局：神奈川県のホームページには「かながわ認知症ポータルサイト」があり、県の取り組みが紹介されています。認知症サポーター養成講座は各市町村で実施しています。葉山町では、SOMPO ケアラヴィーレさんが実施する際は、ご近所へのチラシ配布やホームのホームページで周知されています。地域包括支援センターで実施の際は、チラシや地域の団体等への声掛けで周知していますので、広くお知らせができていないかもしれません。

委員：私は予約制で診療をしているのですが、患者さんの中には認知症のグレーゾーンの方たちが結構多いです。予約日の1週間早く受診したり、予約当日に来院しないことがありますが、柔軟に対応する様また対応方法を代えたりと工夫しています。認知症について、もっと町民の方に分かりやすく伝える必要があると思います。私の方で、対応に困る方がいると、地域包括支援センターへ連絡したり連携しています。私の立場で何か啓蒙活動みたいなことが出来ればいいのではないかと考えていますので、何かあれば教えてください。

事務局：広く住民の方に認知症の予防や相談先など、周知出来ると良いと思っています。これまでは広報はやまにおいて、認知症について特集記事を載せたり、役場ロビーでのパネル展示等周知啓蒙を図っているところです。サポーター養成講座など、地域に出向いてより多くの人の理解を深める活動をしていく事が大事だと思っています。

玉川委員長：令和5年に認知症基本法ができ、それに沿った取り組みを強力に進めていくために、これからの議論で深めていくべきところかと思います。この資料1については、必要があればまた参照しながらということになるかと思います。

次の議題に進みたいと思います。議題の3、アンケートの回収状況について、事務局からご説明をお願い致します。

事務局中込：資料2をご覧ください。第2回委員会に置いて皆さんにご意見いただいたアンケートを、令和8年2月に実施しました。実施および回収状況について説明させていただきます。

1 介護予防、日常生活圏域ニーズ調査は、対象は要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に、無作為に抽出した約3000人に対して、調査票を郵送で送りました。それに対して、回収が2,069人、回収率69.0%でした。前期回収率が65.2%、今回の方が上回りました。

2 在宅介護実態調査は、要介護要支援の認定を受けていらっしゃる方の内、令和8年度において更新あるいは区分変更を行う、認定調査を受けていらっしゃる方全員、約600人を対象に行いました。郵送で送らせていただいて、回収343人、回収率57.5%でした。前期回収率が67.2%でしたので、下回りました。この原因として、前回は認定調査の際に調査員が直接聞き取っていましたが、今回は郵送でしたので、自身で書けない方はケアマネさんやご家族にご協力いただきました。

以下は、介護事業所を対象に実施した調査です。3 在宅生活改善調査【新】は、2と同様の目的であり、2の調査をカバーする調査になっております。回収率は91.7%でした。

4 居所変更実態調査は、居所を変更せざるを得なくなった状況から在宅生活の継続の方策に繋げるもので、回収率64.3%でした。5 介護人材実態調査は、回収率66.7%でした。

調査結果は、次回8月会議において、報告をできるようにまとめていただきたいと思います。以上です。

玉川委員長：ありがとうございました。調査の結果は、今集計中なので、本日は回収率のご報告でしたが、皆様の方が

ら確認やご意見はございますか。では次回以降にご報告頂き、その時に改めて内容について確認をしていきたいと思いをします。

続きまして議題 4、今後のスケジュールのご説明をお願い致します。

事務局中込：資料 3 をご覧ください。9 期の本委員会のスケジュール案になります。偶数月にあと 4 回開催を予定しています。次回は、アンケート結果報告、および課題抽出、第 9 期の事業評価、そして、施設の整備の検討、サービス確保などの検討を行って参ります。その次の 10 月、第 5 回運営委員会は、第 10 期計画の骨子・体系図とサービスの見込み量を検討の予定です。12 月第 6 回の運営委員会においては、計画の素案をお示したいと思っております。介護保険料の概算をお出ししたいと思います。そしてこの素案をもってですね、12 月から 1 月に実施しますパブリックコメントにおいて、町民の方からのご意見いただきまして、それをまとめたものを、その最後の 2 月第 7 回運営委員会において、最終計画書に向けての検討に入ります。この段階で保険料も最終案になります。最終的には議会の了承を経て 3 月末に策定となります。今後ともご協力をお願いいたします。

玉川委員長：来年の 4 月には新しい計画期間が始まりますので、今年度内の策定に向けて、最終回の 2 月には委員会としての意見をまとめていくこととなります。そうするとパブリックコメントが年末年始になって、そこまでの間に各項目を詰めるということで、かなり委員の皆様にもお忙しい中ご審議いただくことになるかと思いますが、引き続きよろしく願います。

次第 5.その他は何かございますか。

事務局中込：机上に参考資料を置かせて頂きました、高齢者福祉計画第 10 期介護保険事業計画、認知症政策推進計画の策定にあたってという資料になります。現時点で国から示されている方向性等をお伝えさせて頂ければと思います。令和 6 年 1 月に認知症基本法が施行され、市町村において認知症政策推進計画の策定を求められています。そのため、第 10 期においては、青い冊子に記載のある 2 つの表題に、認知症政策推進計画を加えて併記していきます。検討事項も増えますがご理解頂ければと思います。また、その他事項も参考に見ていただければと思います。

玉川委員長：ご説明ありがとうございました。これを踏まえ議論していくため、具体的な中身は今後説明されるものと思います。

それではほかに、何か委員の方からありますか。

無いようでしたらこれで第 3 回の葉山町介護保険事業計画等運営委員会を閉会とさせていただきたいと思います。以降事務局の方にお戻し致します。

事務局：ありがとうございます。介護保険事業計画等運営委員会は終了とさせていただきます。ありがとうございました。

資料 1

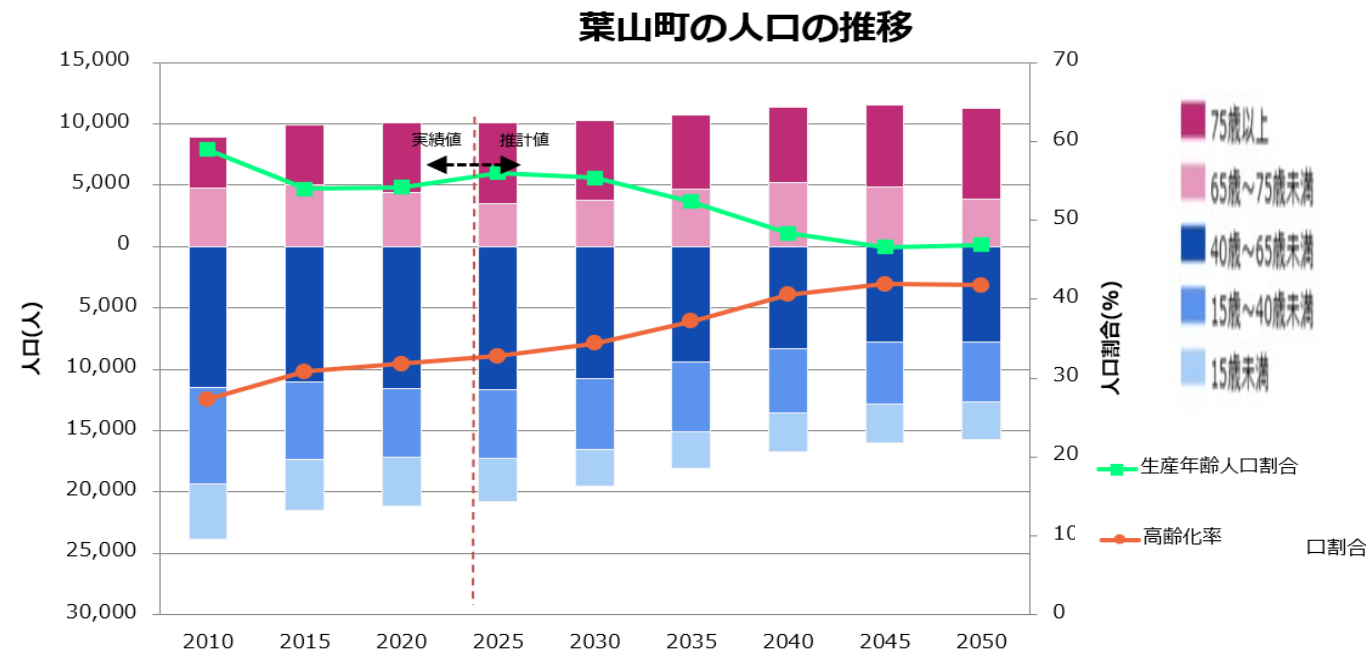
第 9 期第 3 回介護保険計画等運営委員会

令和 8 年（2026 年）6 月 26 日

**第 9 期における
各事業の実績報告等について
令和 7 年度実績**

1 高齢者数等の推移

(1) 高齢者人口等の推移及び推計〔計画書P7/77〕



(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」
2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

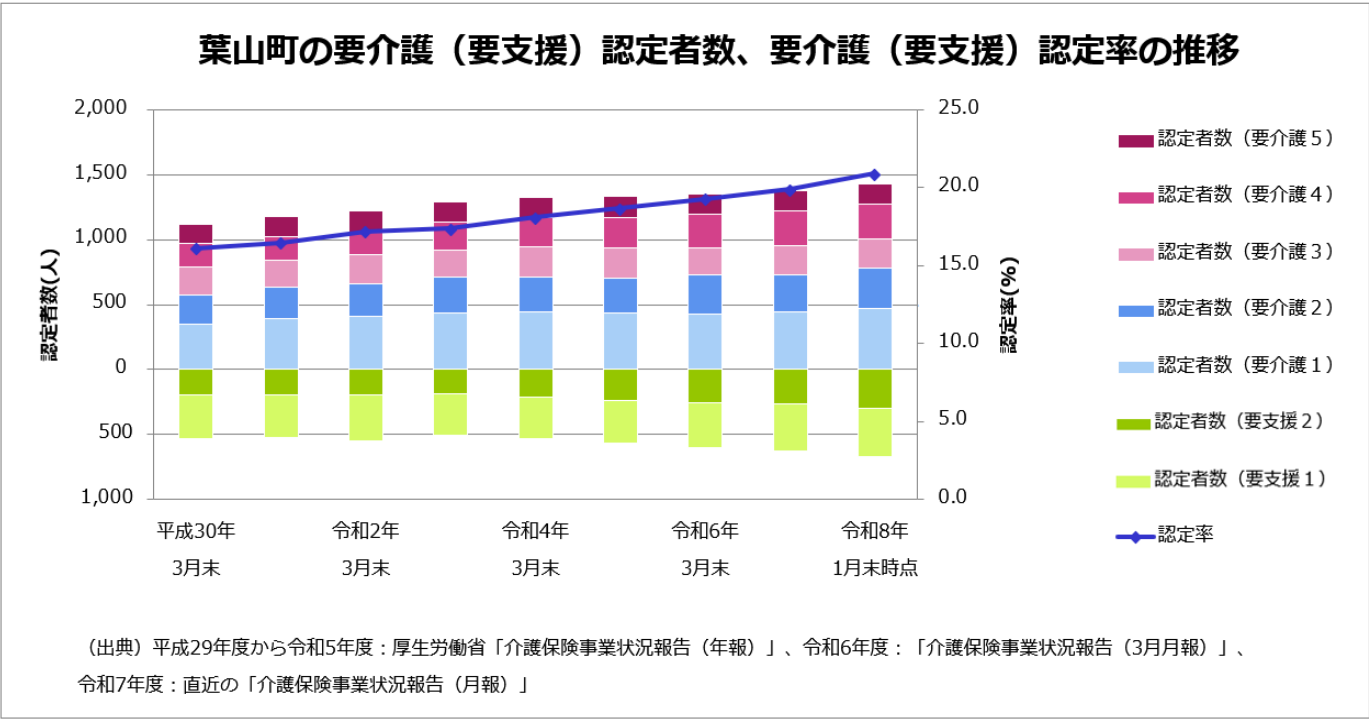
(単位：人)

	第8期			第9期									
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	
葉山町人口	32,841	32,339	98.5%	32,087	32,144	100.2%	31,803	31,538	99.2%	31,500	31,254	99.2%	
第1号被保険者 (65歳以上)	10,131	10,146	100.1%	10,130	10,090	99.6%	10,111	10,035	99.2%	10,088	10,009	99.2%	
高齢化率	30.8%	31.4%		31.6%	31.4%		31.8%	31.8%		32.0%	32.0%		
前期高齢者 (65～74歳)	4,054	3,850	95.0%	3,638	3,702	101.8%	3,548	3,539	99.7%	3,496	3,478	99.5%	
後期高齢者 (75歳～)	6,077	6,296	103.6%	6,492	6,388	98.4%	6,563	6,496	99.0%	6,592	6,531	99.1%	
生産年齢人口	18,559	18,250	98.3%	18,114	18,033	99.6%	17,960	17,843	99.3%	17,823	17,716	99.4%	
年少人口(～14歳)	—	3,943	—	3,843	3,814	99.2%	3,732	3,657	98.0%	3,589	3,529	98.3%	

住民基本台帳より 各年10月1日現在（令和8年度のみ6月1日現在）

介護保険の被保険者のうち、65歳以上の人は第1号被保険者、40～64歳の人は第2号被保険者です。葉山町では、令和3年度をピークに、人口及び高齢者人口は減少に転じております。年齢別人口からみると、この現象は数年続き、団塊ジュニア世代が65歳に到達する約10年後から、再び高齢者人口が増加傾向となると予測しています。一方、生産年齢人口の減少傾向は今後も続くことが見込まれ、さらに高齢化率の上昇は続くものと予測しています。中でも75歳以上の後期高齢者人口は引き続き増加傾向にあります。

(2) 第1号被保険者の要支援・要介護認定者数の推移及び推計〔計画書P8〕



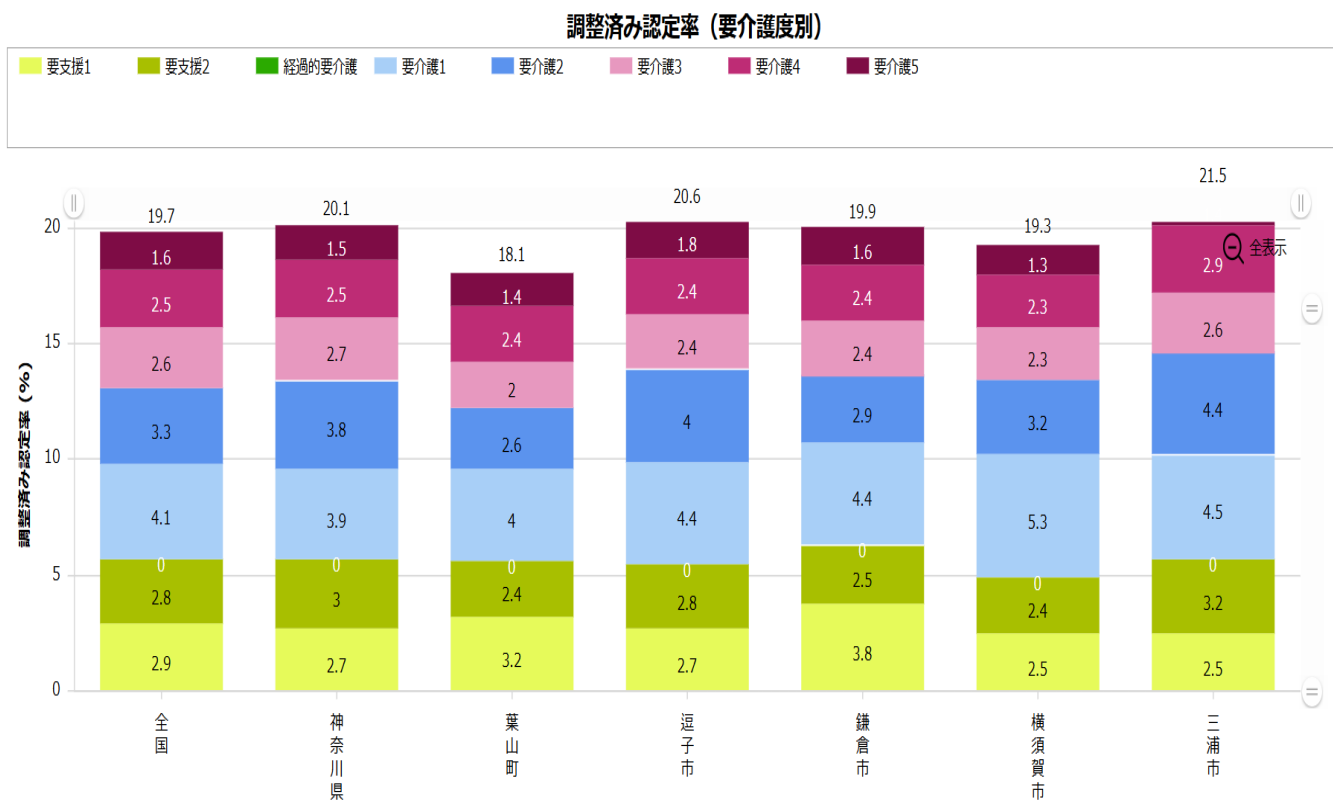
(単位：人)

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
要介護5	175	154	88.0%	181	160	88.4%	184	168	91.3%	189	177	93.7%
要介護4	214	272	127.1%	216	266	123.1%	224	267	119.2%	232	263	113.4%
要介護3	235	213	90.6%	241	232	96.3%	247	239	96.8%	253	237	93.7%
要介護2	285	305	107.0%	292	298	102.1%	298	327	109.7%	305	332	108.9%
要介護1	457	433	94.7%	468	449	95.9%	479	461	96.2%	489	466	95.3%
要支援2	218	259	118.8%	222	268	120.7%	227	283	124.7%	233	336	144.2%
要支援1	364	351	96.4%	373	366	98.1%	379	389	102.6%	384	360	93.8%
要介護等認定者計	1,948	1,987	102.0%	1,993	2,039	102.3%	2,038	2,134	104.7%	2,085	2,171	104.1%
認定率	19.2%	19.6%		19.7%	20.2%		20.2%	21.3%		20.7%	21.7%	

介護保険事業状況報告より 各年10月1日現在

第9期中は、要介護等認定者数は計画値より多く、増加傾向にあります。今後、75歳以上高齢者の増加に伴い、さらに要介護等認定者の増加が見込まれています。

(3) 近隣自治体との要介護認定率の比較（地域包括ケア「見える化システム」）



（時点）令和6年(2024年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

調整済み認定率とは、他市町村等との比較を目的として、「どの地域も全国平均と同じ第1号被保険者の性別・年齢構成だった場合」として計算されます。

葉山町の調整済み認定率は、他市町村と比べ低く、比較的介護を必要とする高齢者が少ないと考えられます。

2 給付費の推移から見た介護保険サービスの利用状況

(1) R5年度から第9期中の計画値との比較

(単位：千円)

★実績が顕著に増えているサービス

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績	計画比	計画値	実績	計画比	計画値	実績	計画比	計画値	実績見込	計画比

予防給付サービス

① 介護予防サービス【計画書P13/82】

介護予防訪問入浴介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0		
介護予防訪問看護 ★	11,935	14,428	120.9%	19,544	14,915	76.3%	18,965	17,797	93.8%	19,037		
介護予防訪問リハビリテーション	1,884	298	15.8%	193	474	245.6%	193	29	15.0%	193		
介護予防居宅療養管理指導 ★	5,189	5,027	96.9%	4,717	5,389	114.2%	4,979	7,029	141.2%	4,979		
介護予防通所リハビリテーション	10,928	8,678	79.4%	6,903	11,836	171.5%	7,200	10,638	147.8%	7,200		
介護予防短期入所生活介護	583	791	135.7%	373	1,331	356.8%	373	787	211.0%	373		
介護予防短期入所療養介護 (介護老人保健施設)	0	63	—	0	0	—	0	801	—	0		
介護予防短期入所療養介護(病院等)	0	0	—	0		—	0	0	—	0		
介護予防福祉用具貸与	9,537	10,123	106.1%	9,888	10,711	108.3%	10,118	10,826	107.0%	10,295		
介護予防福祉用具購入費	901	1,313	145.7%	1,443	1,338	92.7%	1,443	1,160	80.4%	1,443		
介護予防住宅改修費	2,683	7,158	266.8%	6,866	6,529	95.1%	6,866	7,956	115.9%	6,866		
介護予防特定施設入居者生活介護	16,642	20,138	121.0%	18,758	18,944	101.0%	19,446	17,632	90.7%	20,632		

② 地域密着型介護予防サービス【計画書P14/83】

介護予防認知症対応型通所介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0		
介護予防小規模多機能型居宅介護	11,832	3,950	33.4%	2,713	4,419	162.9%	2,716	4,261	156.9%	2,716		
介護予防認知症対応型共同生活介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0		
③ 介護予防支援【計画P14/83】★	11,062	12,255	110.8%	13,210	12,986	98.3%	13,407	13,273	99.0%	13,708		

介護給付サービス

① 居宅サービス【計画書P10/84】

訪問介護 ★	235,458	245,272	104.2%	252,762	266,806	105.6%	258,450	270,848	104.8%	270,808		
訪問入浴介護	30,911	29,168	94.4%	28,051	28,629	102.1%	28,921	23,620	81.7%	30,457		
訪問看護 ★	100,132	133,360	133.2%	119,054	154,748	130.0%	121,986	158,217	129.7%	129,854		
訪問リハビリテーション	6,626	8,091	122.1%	10,778	8,531	79.2%	11,693	8,189	70.0%	11,693		
居宅療養管理指導 ★	49,883	68,844	138.0%	66,257	76,334	115.2%	68,096	80,150	117.7%	71,270		
通所介護 ★	221,173	231,265	104.6%	254,602	250,523	98.4%	261,068	268,734	102.9%	270,552		
通所リハビリテーション	107,285	111,958	104.4%	121,596	107,248	88.2%	124,373	96,031	77.2%	130,200		
短期入所生活介護	116,998	86,675	74.1%	80,684	99,236	123.0%	84,248	94,364	112.0%	87,681		
短期入所療養介護(介護老人保健施設)	14,707	9,293	63.2%	17,848	7,086	39.7%	18,834	7,946	42.2%	18,834		
短期入所療養介護(病院等)	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0		
短期入所療養介護(介護医療院)	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0		
福祉用具貸与 ★	73,885	87,516	118.4%	88,691	95,860	108.1%	92,278	99,653	108.0%	96,134		
福祉用具購入費	4,265	2,688	63.0%	3,131	3,554	113.5%	3,131	3,039	97.1%	3,131		
住宅改修費	8,755	7,535	86.1%	9,390	8,658	92.2%	9,390	6,685	71.2%	9,390		
特定施設入所者生活介護 ★	332,550	366,640	110.3%	392,444	403,336	102.8%	400,473	416,414	104.0%	413,048		

② 地域密着型サービス【計画書P11/85】

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4,721	19,580	414.7%	19,321	20,040	103.7%	19,346	16,193	83.7%	19,346		
夜間対応型訪問介護	0	0	0.0%	0	0	—	0		—	0		
地域密着型通所介護	55,284	60,987	110.3%	53,599	56,722	105.8%	56,337	57,337	101.8%	57,988		
認知症対応型通所介護	46,448	24,776	53.3%	25,751	21,363	83.0%	25,784	26,008	100.9%	27,651		
小規模多機能型居宅介護	87,147	87,168	100.0%	106,694	75,831	71.1%	109,825	87,592	79.8%	115,273		
認知症対応型共同生活介護	92,990	69,448	74.7%	56,919	56,952	100.1%	84,976	56,930	67.0%	84,976		
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0		
地域密着型 介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0		
看護小規模多機能型居宅介護	85,650	0	0.0%	56,558	0	0.0%	56,629	0	0.0%	56,629		

③ その他サービス【計画書P11/86】

居宅介護支援	124,816	134,238	107.5%	142,834	153,357	107.4%	148,165	151,752	102.4%	153,193		
--------	---------	---------	--------	---------	---------	--------	---------	---------	--------	---------	--	--

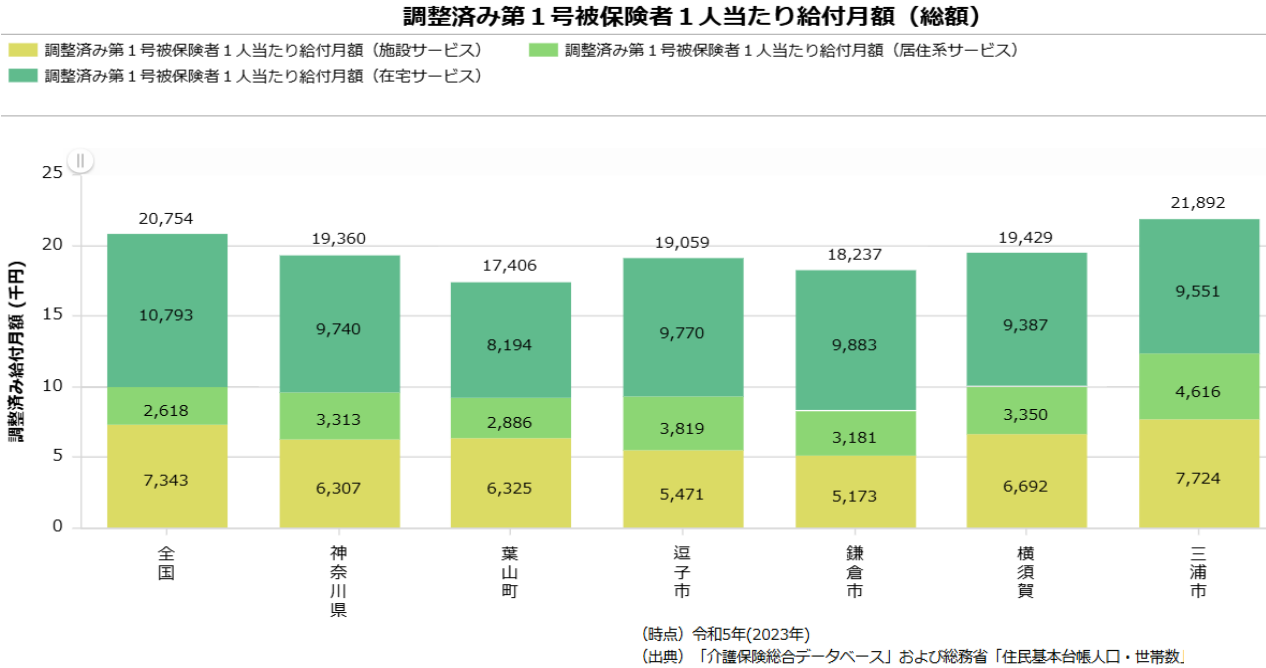
④ 施設サービス【計画書P12/86】

介護老人福祉施設	532,165	553,084	103.9%	554,161	600,186	108.3%	554,862	564,104	101.7%	554,862		
介護老人保健施設 ★	386,131	308,832	80.0%	336,004	322,890	96.1%	336,429	334,119	99.3%	336,429		
介護医療院サービス	0	0	—	0	2,728	—	0	5,128	—	0		

給付費は年々増加傾向にあり、サービス種別では訪問介護・訪問看護・居宅療養管理指導・通所介護・福祉用具貸与・（★印）の在宅サービス、及び特定施設入所者生活介護・介護老人保健施設の施設サービスの利用が増えています。

（２）近隣市との比較を踏まえた給付実績分析（地域包括ケア「見える化システム」）

葉山町の第８期及び第９期計画期間中の給付実績は増加傾向で推移しておりますが、１人当たりの給付実績は、全国平均、神奈川県平均、近隣市と比較して低い状況です。しかしながら、今後の高齢化の進展（特に75歳以上高齢者数の増加）を踏まえると、給付費は今後も増大していく可能性が高いものと見込まれます。限りある社会資源を有効活用し、介護サービスのみならず地域の多様なサービスを適切に提供する体制を構築するとともに、医療・介護の連携を促進していくことが重要となっています。



（３）その他サービスの推進【計画書P71/89】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績	計画比	計画値	実績	計画比	計画値	実績	計画比	計画値	実績	計画比
① 高額介護サービス費	91,645	83,618	91.2%	87,251	92,190	105.7%	89,036	93,622	105.2%	91,290		
② 高額医療・高額介護合算	18,000	13,655	75.9%	13,629	15,632	114.7%	13,908	16,820	120.9%	14,259		
③ 特定入所者介護サービス等費	78,030	37,669	48.3%	52,183	36,974	70.9%	53,251	35,414	66.5%	54,599		

① 高額介護サービス費

介護保険サービスの負担額が重くなりすぎないよう、利用者の所得段階別に設けた基準額を超える自己負担額が発生した場合に、基準額を超えた分について払い戻しを行うものです。

② 高額医療・高額介護合算

介護保険サービスの自己負担額と医療費の一部負担金等の合計額が高額となった場合、利用者の所得段階別に設けた基準額を超える自己負担額分について払い戻しを行うものです。

③ 特定入所者介護サービス等費

介護保険施設（短期入所も含む）に入所している低所得者層の人に対して、居住費（滞在費）、食費に一定の自己負担限度額を設けて、負担が重くなり過ぎないようにするものです。

3 施策の展開【計画書P44】

令和8年度（令和8年6月現在）までの高齢者福祉事業等の進捗状況は以下のとおりです。

元気で健康な状態を維持する

(1) 貯筋運動の普及【地域づくりによる介護予防推進支援事業】【計画書P44】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
実施団体数	27	27	100.0%	28	28	100.0%	29	28	96.6%	30	28	93.3%

各団体週1回程度活動しています。年2回、公認講師による正しい体操の実技と筋厚測定や貯筋通帳を励みに取り組んでいます。計画値までは及ばず、団体の担い手不足や高齢化による課題はありますが、新規団体開拓及び既存団体の維持のため町が伴走支援していきます。

また、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所との連携協定を令和8年3月に締結しました。貯筋運動が介護予防に繋がっているか効果検証を行っていく予定です。

(2) 介護予防事業の推進

○ 介護予防水中歩行教室【計画書P45】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
参加延べ数	110	100	90.9%	120	94	78.3%	120	107	89.2%	120	-	-

委託しているスポーツクラブの受入体制に限りがあり、計画値には及ばない現状です。当事業の参加者からは、非常に高い評価を得ています。より多くの方に参加していただき、自主的な運動等介護予防につながるよう、きっかけ作りとして継続して行きたい。

○ 健康寿命の延伸に向けた未病改善等の取り組み【計画書P46】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
口腔・栄養講座	2	18	900.0%	3	32	1066.7%	3	14	466.7%	3	-	-
認知症講座	2	0	0.0%	3	0	0.0%	3	0	0.0%	3	-	-

町民健康課が実施している、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業と協働し、管理栄養士や歯科衛生士、保健師が地域に出向き、各講座を実施しています。

(3) 介護予防ケアマネジメント事業の充実【計画書P46】

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業の充実【計画書P47】

(5) 外出支援事業の推進【計画書P48】

○ 京急ふれあいバス補助事業

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
延べ利用者数	1,650	1,671	101.3%	1,900	1,713	90.2%	1,900	1,926	101.4%	1,900	-	-

地域包括支援センター運営協議会にて
地域包括支援センター運営協議会にて

○ 無料送迎サービス【計画書P48】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
利用延べ数	320	465	145.3%	330	469	142.1%	340	470	138.2%	350	-	-

○ 高齢者おでかけタクシー券

令和6年度実績（令和6年度9月から開始）			令和7年度実績		
対象者	5,300	人	対象者	5,268	人
申請者数	1,767	人	申請者数	1,705	人
申請率	33.3%		申請率	32.4%	
配布枚数	22,900	枚	配布枚数	37,768	枚
利用人数	1,269	人	利用人数	1,413	人
申請者のうち利用率	71.8%		申請者のうち利用率	82.9%	
利用枚数	9,214	枚	利用枚数	18,044	枚
配布のうち利用率	40.2%		配布のうち利用率	47.8%	
一人平均利用回数	7.3	回	一人平均利用回数	12.8	回

地域でお互い助け合いながら暮らしていく

（1）地域福祉活動への支援

○ 生活支援体制整備事業【計画書P49】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
第2層協議体数	7	7	7	7

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、地域住民や多様な機関と連携して、支え合いの体制を地域で構築するため、「生活支援コーディネーター」を中心に各地域で実施しています。

葉山町では8圏域に分け、各地域に第2層協議体を設置することを目標としています、現在は、イトーピア地区の設置及び各地区の活動を、社会福祉協議会と協働して支援しています。

さらには、町を軸に第1層協議体の機能強化を検討していきます。

（2）地域ケア会議の推進【計画書P49】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
開催回数	1	3	2	3

（3）生きがいミニデイサービス事業【計画書P50】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
延べ参加回数	5,152	5,453	8,590	-

主に介護保険を利用していない高齢者を対象とし、身近な町内会単位で、仲間づくりや健康維持、社会的孤立防止を図ることを目的に、団体への支援を社会福祉協議会へ委託しています。

（４）介護予防・日常生活支援総合事業【計画書P51】

従前相当サービス 延べ利用件数	第 8 期			第 9 期								
	令和 5 年度			令和 6 年度			令和 7 年度			令和 8 年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
訪問型サービス	999	1,010	101.1%	1,018	1,106	108.6%	1,039	1,040	100.1%	1,060		
通所型サービス	2,029	2,198	108.3%	2,089	2,708	129.6%	2,152	3,082	143.2%	2,217		
介護予防ケアマネジメント	1,780	1,867	104.9%	1,900	2,255	118.7%	2,000	2,415	120.8%	2,100		

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
訪問型サービス A（基準緩和したサービス）	0	0	0	0
訪問型サービス B（住民主体による支援）	0	0	0	0
訪問型サービス C（短期集中型サービス）	0	1	1	1
訪問型サービス D（住民互助による移動支援）	1	1	1	1
通所型サービス A（基準緩和したサービス）	1	1	1	1
通所型サービス B（住民主体による支援）	1	1	1	1
通所型サービス C（短期集中型サービス）	1	1	1	1

従前相当サービスは、計画値を上回り、かつ増加し続けています。特に通所型サービスの増加が顕著です。
2040年に向けて、介護人材不足が予測され、総合事業対象者や要支援者は、従前相当サービスに頼らない介護予防ケアマネジメントが望まれます。そのためには、各地域にサービス A・B・D のような社会資源の創出が重要であるため、生活支援体制整備事業との連携等により、積極的に働きかけていきます。

（５）高齢者虐待防止への取組み【計画書P52】

令和 7 年 9 月に神奈川県高齢者虐待防止対応マニュアルが改訂され、関係機関への周知を行いました。令和 7 年度の虐待相談件数 18 件、うち虐待認定数は 3 件で、全件在宅の方でした。
そのため、地域住民への周知啓蒙も含めて、更なる連携強化に努めていきます。

（６）安全・安心な地域づくり【計画書P53】

高齢者をターゲットにした特殊詐欺等対策としては、個別ケースにおいて葉山警察と連携し、未然防止に取り組みました。
また災害時に備え、これまで作成していた避難行動要支援者リストから個別避難計画の作成にシフトしていくため、ケアマネや民生委員等と連携し進めています。

（７）社会参加の促進【計画書P55】

引き続き、老人クラブやねりんふれあいの集い事業への支援を行っていきます。また、高齢者に限らない生涯学習の活動についても、社会参加の場の選択肢を広げるための支援を行っていきます。
高齢者の社会参加についての実態把握のため令和7年度アンケートを実施しました。

（８）就業の支援【計画書P56】

高齢者の就業の現状把握を令和7年度アンケートを実施しました。

(1) 認知症について理解する【計画書P57】

○ 認知症の普及啓発

世界アルツハイマー月間（9月）に併せたパネル展示を実施しました。
認知症状を背景に虐待に至る事例もあるため、サポーター養成講座等を実施し、認知症に対する正しい知識、対応方法について、町民に広く理解を得られるよう、周知啓蒙に努めていきます。



○ 認知症対策講演会【計画書P57】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
実施回数	1	0	0.0%	1	1	100.0%	1	0	0.0%	1	-	-

○ 認知症サポーター養成講座【計画P58】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
実施回数	5	3	60.0%	6	5	83.3%	6	2	33.3%	6	0	0.0%

(2) 認知症の早期発見・早期対応

○ 認知症初期集中支援チーム【計画書P59】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
医師	1	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%
保健師・看護師	6	5	83.3%	2	4	200.0%	2	5	250.0%	2	5	250.0%
社会福祉士	2	5	250.0%	2	4	200.0%	2	4	200.0%	2	5	250.0%
主任ケアマネジャー	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%

認知症専門医または認知症サポート医の確保が出来ず、現状チーム活動ができていません。初期集中支援のための、支援者への相談会等、形態を変えて実施していきます。

○ 認知症地域支援推進員

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
保健師・看護師	6	5	83.3%	4	4	100.0%	4	5	125.0%	4	5	125.0%
社会福祉士	2	5	250.0%	2	4	200.0%	2	4	200.0%	2	5	250.0%
主任ケアマネジャー	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%

(3) 認知症予防事業の実施

○ 認知症等行方不明SOSネットワーク【計画書P60】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
登録者数	80	81	101.3%	88	80	90.9%	97	73	75.3%	106	-	-

○ 成年後見制度の利用促進【計画書P61】

成年後見に関する相談は年々増加しています。今後必要になる備えを理解し、社会資源等を選択できるよう社会福祉協議会と連携して、支援していきます。
また、終活サポート事業により制度について周知して参ります。

年齢を重ね介護が必要な状態となっても、可能な限り、暮らしていけるまちとする

(1) 高齢者への生活支援の充実

○ 緊急通報システム【計画書P62】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
延べ利用者数	1,220	1,121	91.9%	1,230	1,190	96.7%	1,240	1,132	91.3%	1,250	-	-

○ 配食サービス

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
延べ利用者数	360	382	106.1%	370	321	86.8%	380	465	122.4%	390	-	-

○ 無料入浴サービス【計画書P63】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
延べ利用者数	700	594	84.9%	710	698	98.3%	720	869	120.7%	730	-	-

○ 在宅高齢者住宅改修助成事業

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
助成件数	16	13	81.3%	16	23	143.8%	16	9	56.3%	16	-	-

○ ふれあいごみ収集【計画P64】

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
登録者数	68	53	77.9%	71	54	76.1%	75	75	100.0%	79	-	-

○ 養護老人ホームへの措置

	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
利用者数(年度末)	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%

(2) 日常的な見守り活動や助け合い活動の推進【計画書P65】

まちぐるみや事業をとおして日常的な見守り活動を、引き続き行っていきます。また、孤独死対策としても見守り活動は重要であり、チラシを作成して見守りの視点を共有していきます。

(3) 介護人材の確保・育成【計画書P73】

令和7年度より開始した、介護職員現任キャリアアップ支援事業で、町内介護事業所職員対象に研修を実施しています。小中学生に対して、介護職の魅力発信についても、事業展開していきます。

(4) 医療と介護の連携【計画書P74】

逗葉地域医療センター内に逗子市と在宅介護医療連携相談室事業を委託設置し、コーディネーターを配置しています。自宅で最期を迎えることができる地域の体制づくりを推進して参ります。

4 施設整備について

(1) 地域密着型サービスの日常生活圏域ごとの見込量【計画書P81】

令和5年度～令和7年度の介護保険事業所の増設計画及び増設実績、令和8年6月現在の事業所数については、次のとおりです。

		第8期			第9期								
		令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
認知症対応型 通所介護	第1圏域	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	100%
	第2圏域	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	
小規模多機能 型居宅介護	第1圏域	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	100%
	第2圏域	2	2	100%	2	2	100%	2	2	100%	2	2	
看護小規模 多機能型 居宅介護	第1圏域	0	0	-	1	0	0%	1	0	0%	1	1	100%
	第2圏域	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	
定期巡回・ 随時対応型 訪問介護看護	第1圏域	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	1	100%
	第2圏域	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	0	
地域密着型 通所介護	第1圏域	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%	1	1	100%
	第2圏域	2	2	100%	2	2	100%	2	2	100%	2	2	
認知症対応型 共同生活介護	第1圏域	1	1	-	1	0	0%	1	0	0%	1	0	33.3%
	第2圏域	2	2	100%	2	2	100%	2	1	50%	2	1	

※認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の値はユニット数

(参考) 特別養護老人ホーム入所待機者数の推移【P79】

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
待機者数	74	70	55	54

(各年度4月1日現在)

5 介護保険料について

○ 所得段階別第1号被保険者数

所得段階	第8期			第9期								
	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	保険料額	被保険者数	構成比	保険料額	被保険者数	構成比	保険料額	被保険者数	構成比	保険料額	被保険者数	構成比
	年額/円	人	%	年額/円	人	%	年額/円	人	%	年額/円	人	%
第1段階	17,640	1,454	14.28%	18,468	1,400	13.86%	18,468	1,368	13.59%	18,468	1,325	13.25%
第2段階	26,460	667	6.55%	28,382	683	6.76%	28,382	707	7.03%	28,382	696	6.96%
第3段階	39,396	598	5.87%	41,472	571	5.65%	41,472	549	5.46%	41,472	553	5.53%
第4段階	55,860	1,423	13.98%	57,024	1,332	13.19%	57,024	1,285	12.77%	57,024	1,202	12.02%
第5段階	58,800	1,264	12.42%	64,800	1,277	12.64%	64,800	1,269	12.61%	64,800	1,350	13.50%
第6段階	73,500	1,072	10.53%	73,872	925	9.16%	73,872	886	8.80%	73,872	856	8.56%
第7段階	74,088	893	8.77%	81,000	816	8.08%	81,000	781	7.76%	81,000	773	7.73%
第8段階	74,676	678	6.66%	86,832	707	7.00%	86,832	753	7.48%	86,832	738	7.38%
第9段階	89,376	887	8.71%	97,848	1,012	10.02%	97,848	1,011	10.05%	97,848	1,004	10.04%
第10段階	90,552	468	4.60%	109,512	486	4.81%	109,512	541	5.38%	109,512	544	5.44%
第11段階	92,316	338	3.32%	122,472	386	3.82%	122,472	393	3.91%	122,472	452	4.52%
第12段階	102,900	141	1.39%	136,080	161	1.59%	136,080	168	1.67%	136,080	165	1.65%
第13段階	111,720	79	0.78%	150,336	76	0.75%	150,336	82	0.81%	150,336	78	0.78%
第14段階	123,480	82	0.81%	165,240	108	1.07%	165,240	101	1.00%	165,240	108	1.08%
第15段階	135,240	39	0.38%	181,440	44	0.44%	181,440	45	0.45%	181,440	50	0.50%
第16段階	147,000	96	0.94%	200,880	115	1.14%	200,880	124	1.23%	200,880	107	1.07%
合 計		10,179			10,099			10,063			10,001	

(参考) 第9期計画期間中の所得段階区分

(各年とも年度末、令和8年度は6月1日現在)

所得段階	町民税	対象者
第1段階	世帯 非課税	生活保護受給者・町民税非課税の老齢福祉年金受給者
		合計所得金額＋課税年金収入額が80万円以下の者
第2段階		合計所得金額＋課税年金収入額が120万円以下の者
		第1段階以外の者
第3段階	世帯課税で本 人非課税	第1段階、第2段階以外の者
第4段階		合計所得金額＋課税年金収入額が80万円以下の者
第5段階		第4段階以外の者【基準段階】
第6段階		合計所得金額が120万円未満
第7段階	本人課税	合計所得金額が120万円以上160万円未満の方
第8段階		合計所得金額が160万円以上200万円未満
第9段階		合計所得金額が200万円以上300万円未満
第10段階		合計所得金額が300万円以上400万円未満
第11段階		合計所得金額が400万円以上600万円未満
第12段階		合計所得金額が600万円以上800万円未満
第13段階		合計所得金額が800万円以上1,000万円未満
第14段階		合計所得金額が1,000万円以上1,500万円未満
第15段階		合計所得金額が1,500万円以上2,000万円未満
第16段階		合計所得金額が2,000万円以上

○ 介護保険料収納状況

年度	区分	特別徴収	普通徴収	合計
令和5年度	収入済額	559,959千円	63,753千円	623,712千円
	収 納 率	100.0%	90.4%	98.9%
令和6年度	収入済額	629,756千円	80,127千円	709,883千円
	収 納 率	100.3%	91.9%	99.3%
令和7年度	収入済額	626,891千円	83,618千円	710,509千円
	収 納 率	100.2%	95.9%	99.7%

第 10 期介護保険事業計画の作成に向けた各種調査について

第 10 期葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定の基礎資料として、次の 5 つの調査を実施しました。

	調査種別	目的	調査対象	抽出法等	対象者数	回収数 (回収率)
1	介護予防・ 日常生活圏域 ニーズ調査	日常生活圏域ごとの、地域の 抱える課題の特定（地域診 断）に資する	2026 年(令和 8 年)1 月 1 日現在で要介護認定 (要介護 1 以上)を受けていない 65 歳以上の高齢 者約 8,660 人から、無作為抽出した約 3,000 人。	層化無作為 抽出法 郵送調査	3,000 人	2,069 人 (69.0%)
2	在宅介護 実態調査	「家族等介護者の就労継続」・ 「要介護者の適切な在宅生活 の継続」	2024 年(令和 6 年)12 月～2025 年(令和 7 年)12 月の間、在宅生活をしている要支援・要介 護認定を受けている人のうち、更新あるいは区分変 更申請に伴う認定調査を受けている約 600 人。	悉皆調査 郵送調査	595 人	343 人 (57.5%)
					対象事業者数	回収数 (回収率)
3	在宅生活 改善調査 【新】	「家族等介護者の就労継続」・ 「要介護者の適切な在宅生活 の継続」	居宅介護支援事業所 小規模多機能型居宅介護 地域包括支援センター	全事業所	12 事業所	11 事業所 (91.7%)
4	居所変更 実態調査	「住み慣れた施設等における生 活の継続」	居住・施設系サービス事業所	全事業所	28 事業所	18 事業所 (64.3%)
5	介護人材 実態調査	「介護人材の確保、適切な役 割分担の実現」	4 の対象に加え、通所・訪問サービス、小規模多機 能型居宅介護、定期巡回随時対応型訪問介護看 護の事業所	全事業所	6 事業所	4 事業所 (66.7%)

○ 調査期間 ： 2026 年（令和 8 年）2 月 1 日～ 2 月 28 日

第 9 期(令和 6 年度～令和 8 年度)介護保険事業計画等運営委員会スケジュール案

年度	暦月	運 営 委 員 会	審 議 事 項 等
6	令和 7 年 1 月 24 日 (木)開催	第 1 回 運営委員会	○ 委員委嘱、 ○ 令和 5 年度の事業実績報告・第 9 期進捗状況 ○ 今後のスケジュール検討
7	令和 7 年 12 月 4 日 (木)開催	第 2 回 運営委員会	○ 令和 6 年度の事業実績報告・第 9 期進捗状況 ○ 現状の問題点の整理 ○ 計画策定にかかるアンケート調査の内容検討
	令和 8 年 2 ～ 3 月	アンケートの実施	1 自立・要支援認定者対象：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 2 要介護認定者対象：在宅介護実態調査 3 ケアマネ対象：在宅生活改善調査 4 入所系事業所対象：居所変更実態調査 5 訪問・通所・入所系事業所対象：介護人材実態調査
8	令和 8 年 6 月 26 日(金) 本日開催	第 3 回 運営委員会	○ 令和 7 年度の事業実績報告 ○ 第 9 期計画期間の振り返り ○ 国の動向・町の意向
	8 月予定	第 4 回 運営委員会	○ アンケート実施結果報告および課題抽出 ○ 第 9 期事業評価 ○ 施設整備（ハード面）の検討 ○ サービス確保等の検討
	10 月予定	第 5 回 運営委員会	○ 第 10 期計画骨子・体系の検討 ○ サービス見込量の検討
	12 月予定	第 6 回 運営委員会	○ 計画素案の検討 ○ 介護保険料の検討
	12～1 月	パブリックコメントの実施	
	2 月予定	第 7 回 運営委員会	○ 介護保険料の設定 ○ パブリックコメントの結果報告・意見反映の検討
	3 月末	第 10 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定	